

令和7年度 学校評価アンケート 自由記述欄について

〈はじめに〉

学校評価は学校の教育活動や学校運営に関して、職員だけでなく本校生徒や保護者、地域の方々と共に、その取組や成果を評価し、次年度に向けて改善を図るために行うものです。12月に保護者の皆さんからいただいた学校評価の「自由記述」について、多かったですご意見に対して回答したいと思います。

【肯定的なご意見について】

〈学習指導について〉

- 教科指導については、授業内容に工夫が感じられ、子どもの興味を引く授業になっている、単元テストであることで学力の定着がはかりやすいなど、肯定的な意見をたくさんいただきました。
- 各教科の課題において、評価の基準が明確に示されていることで、子どもが何を学習すればよいか分かりやすいといった評価・評定に関する意見もいただいております。

〈生活支援について〉

- 先生方が親身になって子どものことを考えてくれている、何でも話しやすい雰囲気があり、子どもの良い面をみてる先生が多い、家庭との連携が丁寧であるなど、教師と肯定的な意見をたくさんいただきました。
- 学びの教室や校内教育支援センター（ひだまり）の活用など、それぞれの子どもに合った学びの形について、子どもの登校しやすさにつながっているなど肯定的な意見をいただきました。

〈学校行事について〉

- 学校祭では子どもの自主性を大切にした活動が行われており、子どもが楽しめるような取組が行われ意欲的な姿が見られたなど、肯定的な意見をいただきました。

〈その他〉

- PTA活動については、任意参加であることで仕事などの予定に合わせて参加ができる、制服リサイクルなど保護者にとって有益な活動が行われているなど、肯定的な意見をたくさんいただきました。

多くの方々に本校の教育活動を肯定的に受け止めていただき、感謝申し上げます。特に子どもたちがのびのびと生活している様子や、教職員の親しみやすさ、学校全体の雰囲気の良さに対するご意見を多かったです大変うれしく感じています。次年度も、引き続き今年度と同様のお声をいただけるように、職員一同、真摯な態度で取り組んでいきたいと思ひます。

【ご意見・ご要望について】

〈学習指導について〉

△進路相談が例年11月行われているが、三者面談までの期間が短く子どもと十分に話し合う時間がなく大変だったという声がありました。

- 次年度は、例年11月に行われている進路説明会だけではなく、ご家庭で十分に進路について話し合いを持つことができるよう、早い段階で1回目の説明会を行い、11月に2回目の説明会を行うなどの策を講じていきたいと思ひます。

△単元テストではなく、定期テストを実施して欲しいという声がありました。

→ 従来行われていた定期テストでは、短期間で、範囲の長い定期テストのための勉強を集中的に行わなければならないというデメリットがありました。単元テストであることで、そういったデメリットを解消し、さらには目標意識を持って学習に取り組む習慣が身につくことを期待しています。また、学習してからそれほど日を置くことなくテストを行うことができるため、子どもたちが身につけた資質・能力が正しく測れるという側面もあります。

生徒が自分で単元テストの予定を把握し、計画できるようになることを目的の一つとして各学年において『生活・学習記録手帳』を活用しています。自ら学習計画を立て、目標に向かって学習することができるよう、ご家庭でもお子さんの様子を見守っていただきますよう、よろしくお願いいたします。

〈生活指導について〉

△子ども一人ひとりの個性をよく理解し、子どもに寄り添った対応をして欲しいという声がありました。

△子どもの活動の幅が広がり、担当の窓口がどこになるのかがわからず、相談しにくいという声がありました。

→ 本校では、生徒が「通いたくなる学校」を目指し、生徒の気持ちに寄り添いながら、生徒が「～したい」という意欲をもち参画できる活動の充実に取り組んでいます。今後も、全職員がチームとなって生徒一人一人に目を配り、認め、褒めることを大切にしながら関りを深めていきたいと考えています。

本校では、各学年の様子を交流するなどの情報共有を毎週行い、安心・安全な学校生活の維持に努めてきました。今後も学年所属の教員だけでなく、スクールカウンセラーや特別支援コーディネーターなどと連携をしながら、生徒一人一人の困り感や特性に対して組織的に支援する方法を検討し、取り組みを進めていきたいと思えます。

お子さんのことで何かご相談がありましたら、学級担任や学年所属の教員など、気兼ねなくご相談いただければと思えます。

〈その他〉

△部活動の選択肢が増えればよい、部活動予定の学校ホームページへの掲載や、予定の変更などに対する連絡体制を整えて欲しいという声がありました。

○保護者として協力できることとして、地域のパトロールや清掃活動などのボランティア活動の充実、親同士のつながりを深めるための家庭教育学級の企画など、PTA活動のさらなる充実をはかっていきたいという声がありました。

→ 設立する部活動の種類についてご要望をいただきました。部活動の設立は、指導者、活動場所の確保などの様々な条件があり、特に指導者の確保が年々難しくなっている状況があります。地域団体や近隣中学校との連携など多様な活動の形態について模索していきたいと思えます。

「この学校に通わせたい」「学校が地域にあって良かった」と思われるよう、日々、我々は子どもたちの変化に目を向け、子どもたちのやる気を育てていければと考えています。学校では、子どもたちがより良く成長するためには、「つまづきを乗り越える経験」が重要と考えています。子供たちの小さな「つまづき」に関して、学校・家庭・地域が役割分担しながら、乗り越えられるようにサポートし続けることが必要だと思えます。今まで以上、保護者の皆さんと「目標」を共有しながら、子ども達との信頼関係を築き、熱心に、そして丁寧な教育活動に取り組んでいきたいと思えます。今後ともご家庭でのご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。